

のお金の使いみち

委員会(決算)一

平成27年度各会計の決算については、議長を除く議員全員で構成される予算決算常任委員会(藤原栄孝委員長)に付託し、審査しました。質疑のなかから主なものをピックアップしてお知らせします。

姉妹都市

Q 姉妹都市サザンダウンスの市長が変わったが、交流は継続されるのか。

A サザンダウンスの市長が変わり、就任のお祝いとして書簡を送った。年明けに中学生派遣を予定しており、意向について聞いてみる。交流は継続の考えである。

災害避難情報

Q 避難準備情報、避難勧告など町民が内容を把握しているか。

A まちづくり座談会など機会を通じて知らせているが、町民が用語を全部把握している

防災対策専門員

Q 地域に出向いて防災指導をする専門員が必要ではないか。

A 現在は設置していないが、今後検討する。



鳥獣対策 電柵講習会

投票意識啓発

Q 紫波総合高校での模擬投票の取り組みは評価すべきもの。今後の啓発の考えは。

A 継続したい。成人式での模擬投票、小中学校なども機会をとらえて充実させていく。

鳥獣被害

Q 被害者が自ら守ることが出来るよう、電柵の設置など、意識啓発が必要ではないか。

A 資材に対する町補助はあまりないが、今後国や県へ要求し、地域と一緒に対策を考えていきたい。

リノベーション

Q リノベーションの効果は。

A 取り組みは、意見交換会や不動産所有者の対面での調査、遊休不動産をリスト化した。1年目であり、継続して実施して事業化が図られるようにする。

認知症対策

Q 認知症を正しく理解するための対策は。

A 広報での特集やガイドラインの作成、町内事業所、小中学生を対象に認知症講座を実施した。

児童虐待

Q 児童虐待相談の現状は。

A 心理的な虐待や、面前DVが増えてきた。28年度は相談件数が増えている。

※面前DVとは：親が子どもの目の前で配偶者に暴力をふるうこと。

徹底審査! まち

— 予算決算常任



東京錦糸町 ふるさと会

国民健康保険

Q 国保税の未納額をなくすための取り組みは。

A 現年分には早期対応、滞納分には差し押さえ物件の調査や、実態把握に努めている。また、滞納整理などのため職員を研修に派遣している。

ふるさと会

Q 設立から30周年を迎える紫波町ふるさと会の今後は。

A 年々会員は減少しているが、地域の応援団として首都圏と地域をつなぐ貴重な組織と認識している。岩手県人連合会などと連携し、今後も会員拡大に努め

在宅医療

Q 在宅医療の現状は。

A 訪問看護サービスを受けられる事業所が町内にあり、町外の事業所の利用も可能になっている。また、町には、在宅医療診療所として24時間往診してくれる医師が一人いる。

ていきたい。

えこ3センター

Q えこ3センター収支のバランスへ向けた改善は可能か。

A 経常的経費の削減や販売額向上に全力で取り組んできた。今後も循環型まちづくり政策の一翼として責務を果たしていきたい。

紫波中央駅東口設置

Q 紫波中央駅東口設置

置の進捗状況は。

A 有人駅化やバリアフリー化など、優先度の高い項目から順次整備していく計画だが、実現には多額の財源確保が大きな課題である。

南部酒屋唄全国大会

Q 町内外に紫波町のお酒や食材をPRする

機会として、積極的な取り組みを。

A 商工会で、お酒、お弁当の販売を行っているが、特産品の拡充を検討したい。案内表示を追加すると共に、平成30年度以降の日程は他のイベントや大会日程を考慮し集客に取り組みたい。



特産品の販売の様子 (酒屋唄大会会場)